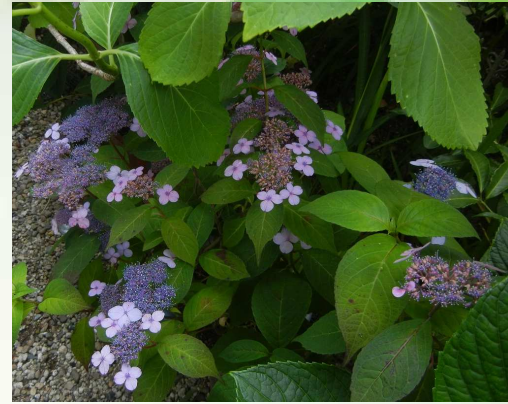


◆ 6月の便り

雨に負けずに Happy Rainy Days!!



梅雨に入りましたが、雨降らずにお天気続き。どうなるのでしょうか??
今年も天候急変の荒々しい梅雨になりそう!! 十分気を付けて、乗り切りましょう

- 2017年上期 栄太郎の会 2017.6.11.夕 の報告
- 近田あき子さん6月の山野草 in 秦野【1】「ガクウツギ」
- 尼崎で 今開催中のおすすめの展覧会
 1. なつかしいサントリー洋酒の広告キャラクター「アンクルトリス」
 県尼の大先輩・柳原良平さん（1931～2015年）の
 回顧展「アンクル船長の夢」
 2. 尼崎文化財収蔵庫企画展 「尼崎・近代交通の始まり」



2017年上期 栄太郎の会 2017.6.11.夕

6月11日 夕刻 神戸生田神社前 串焼き「栄太郎」に
13名の仲間が集まり、2017年上期栄太郎の会。
酒を酌み交わし、気炎を上げては久しぶりの再会を楽しみました。

- ◎ 関東千葉から坂元(祥)も駆けつけ、平田さん(高槻)・村沢さん(堺)が初参加のうれしい会に。恒例の生田神社鳥居前で集合写真を撮って会が始まりました。
「みんな 一言づつ、今をしゃべろう」との牧田さんの提案で、久しぶりに近況を語り合いましたが、しゃべる しゃべる。
牧田君の手にした鐘が「チン」と鳴って、ストップ。

話は 病気・加齢そして仲間のこと そして近況などなど。
みんな 元気に今をやってるなあ・・・と。
本当にうれしい再会でした。
みんな酔っぱらって 笑顔が絶えぬ中
次回の再会を約して 夜遅くに散会。

お店休業の日曜日 息子さん 孫さんまで借り出して、色々料理や酒等々の世話してくれた阪本(忠)さんはじめ、
「栄太郎」ファミリーの皆さんにも感謝。
おかげで 心地よく酔っぱらってピンボケ写真ですが、
恒例の生田神社前の集合写真とスナップなど雰囲気をお伝えします。
本当にみんなみんな ありがとう。

- ◎ 次回は11月12日午後4時から
また多くの仲間が参加されますよう期待しています。
体調不良などで当日参加できなかった仲間も多く、
また、病気加療や幾多の困難の中にある仲間も多いと聞く。
お互い日に日に老齢を感じる世代に。
今年の梅雨はどうなんでしょうか・・・無理は禁物。体調に気を付けて!!
仲間がいる!! 仲間の元気を活力に!! 次の再会を楽しみに。



2017年上期 栄太郎の会 2017.6.11. 後列: 吉田・中西・辻・米田・村上・寺岡・大音・高橋・平田
前列: 牧田・坂元(祥)・阪本(忠)・村沢・村山・上杉



2017年上期 栄太郎の会 2017.6.11.



2017年上期 栄太郎の会 2017.6.11.

2017年上期 栄太郎の会 2017.6.11.



仲間の元気を活力に!! 2017年上期栄太郎のPhotoの会

2017年上期 栄太郎の会 2017.6.11.

2017.6.11.



2017 山野草便り 秦野市より

2017. 6. 2. 近田あき子 (7組)

「ガクウツギ」 花言葉は「明日の幸福」



昨日表丹沢林道に歩きに行ってきた。
ウツギの白い花が至る所に咲いていました。
このガクウツギはウツギと名が付いていますが
アジサイの仲間です。
花びらに見えるのは萼で装飾花です。
本当の花は5ミリほどです。
虫を呼ぶために目立たせているようです。



今尼崎で開催中のおすすめの展覧会

休館日などご注意ください ご確認ください
2017.6.15. by 中西睦夫

1. なつかしいサントリー洋酒の広告キャラクター「アンクルトリス」 県尼の大先輩・柳原良平さん（1931～2015年）の 回顧展「アンクル船長の夢」

● 尼崎文化センター 芸術ホール(5・6F) 5月20日-7月9日 休館日注意

◆ ホームページ <http://www.archaic.or.jp/event/gallery/detail.php?id=212>

2. 尼崎文化財収蔵庫企画展 「尼崎・近代交通のはじまり」

● 尼崎市立文化財収蔵庫(尼崎市南城内) 5月20日-7月23日

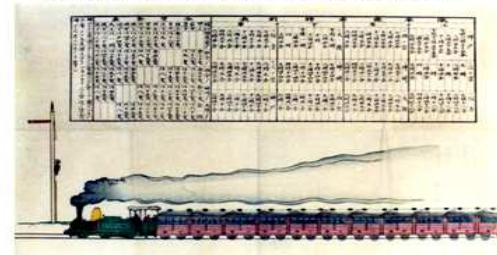
◆ ホームページ http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/bunkazai_0/031618.html



文化財収蔵庫第16回企画展「尼崎・近代交通のはじまり」



絵入ロンドン新聞に掲載された大阪神戸間鉄道の武庫川鉄橋のイラスト



明治7年の阪神間鉄道の時刻表

平成29年5月20日(土曜日)から7月23日(日曜日)まで
月曜日休館、ただし7月17日(祝日)は開館し翌7月18日(火曜日)が休館
開館時間 午前9時から午後5時30分まで
会場 尼崎市立文化財収蔵庫 企画展示室 (尼崎市南城内10-2)

1. なつかしいサントリー洋酒の広告キャラクター「アンクルトリス」 県尼の大先輩・柳原良平さん(1931～2015年)の 回顧展「アンクル船長の夢」

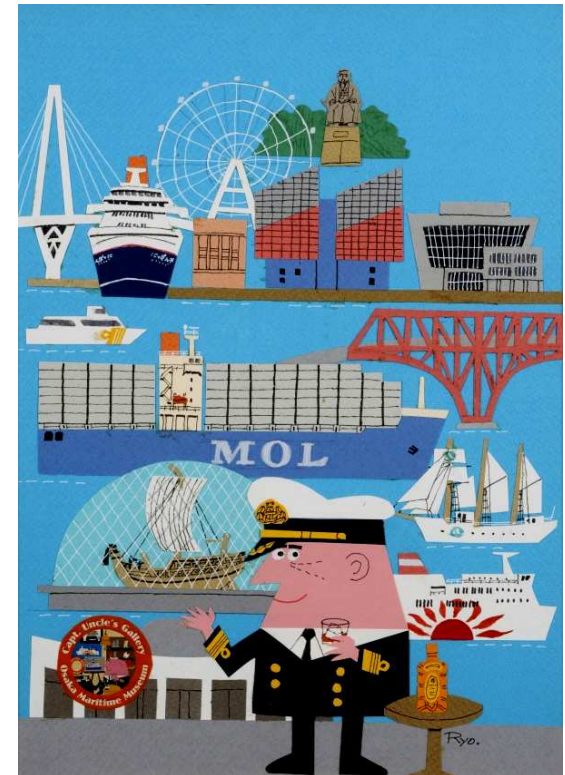
県尼の大先輩 柳原良平さんの回顧展が 今 尼崎総合文化センターで開催されています。

1950年代にサントリーの「トリスウイスキー」の広告に登場し、国民的キャラクターとなった「アンクルトリス」。そのイラストを手掛けた柳原良平(1931-2015)は、イラストレーター、デザイナー、画家、文筆家など多彩な活動を繰り広げ、その作品は多くの人に親しまれてきました。

船好きとしても知られ、船や港をテーマとする作品や文章を数多く発表しました。

本展では、少年期から青春期を過ごした京都・兵庫・大阪ゆかりの作品・資料を、大阪市立中央図書館“アンクル船長のギャラリー”から、また、港が見える山手に居を構え長く住んだ横浜ゆかりの作品・資料を、横浜みなと博物館から出品します。

柳原が得意とした切り絵をはじめ、油彩画・水彩画や、デザイナーとして携わった出版物などに加え、自作の船の模型や旅行先で集めた船舶グッズなど幅広い作品と資料により、「海と船と港」を愛した柳原良平の画業を紹介します。



なお、「アンクルトリス」に登場する人物に どころなく当時の県尼の先生方の顔を感じるという先輩諸氏もいる。

英国の「絵入ロンドン新聞」に掲載された日本初の鉄道用鉄橋「武庫川鉄橋のイラスト」



2. 尼崎文化財収蔵庫企画展「尼崎・近代交通のはじまり」

● 尼崎市立文化財収蔵庫(尼崎市南城内) 5月20日-7月23日
2017.6.14. 神戸新聞の記事より

企画展「尼崎・近代交通の始まり」

鉄路の広がり 変遷紹介

鉄橋の敷設、宅地の大規模開発：

明治から昭和初期の資料を元に尼崎の近代交通の足跡を探る企画展「尼崎・近代交通の始まり」が、市立文化財収蔵庫(南城内)で開かれている。汽車や電車、大規模道路などが次々に発展し、「工都」を支えた様子が一目瞭然。訪れる鉄道ファンらの興味を引いている。(岡西麗志)

同収蔵庫が2014年度から5回ペースで開いている企画展の一環。今年は、阪神国道(現在の国道2号)開通90年▽阪急武庫之荘駅の開設80年▽官設鉄道(現JR)の神戸―京都間開通140年―という節目にあたることから、近代交通をテーマに実施した。

当初は、同収蔵庫が2014年度から5回ペースで開いている企画展の一環。今年は、阪神国道(現在の国道2号)開通90年▽阪急武庫之荘駅の開設80年▽官設鉄道(現JR)の神戸―京都間開通140年―という節目にあたることから、近代交通をテーマに実施した。

第1章の官設鉄道では、現在のJR尼崎駅の前身である神崎駅を紹介。敷設の狙いは大阪と神戸をいかに短く、まっすぐつなげられるかにあったといい、駅は旧尼崎城の城下町とは離れた場所に建てられた。

「大阪いって右左 菜種ならざる畑もなし 神崎川のながれのみ 浅黄にゆくぞ美しき」とのどかな様子を歌った「地理教育鉄道唱歌」も展示されている。神崎川に鉄橋を架ける際、川床の地質を調べて色分けした図な

7月23日まで(月曜休館)。

期間中、学芸員による展示解説やビデオ上映などもある。いずれも無料。同収蔵庫 ☎06・6489・9801

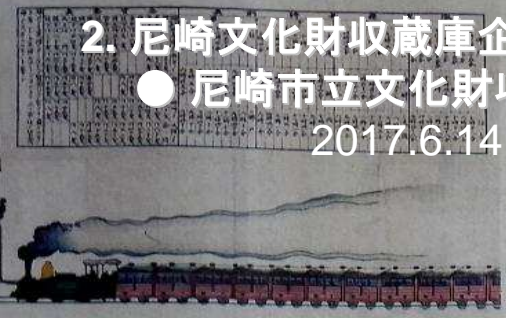


南側から見た神崎駅(現・JR尼崎駅)の駅舎



1924(大正13)年に発行された乗車マナーを記載した阪神電鉄の広告

官設鉄道の大坂―神戸間の開通に伴い発行された時刻表・運賃表



阪神電鉄開業を伝える広告 阪急塚口駅周辺の宅地販売を知らせる広告

